

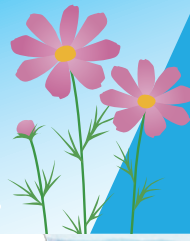
みらい川崎市議会議員団だより

しまだ和明 市議会ニュース

令和6年秋号

発行

みらい川崎市議会議員団
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
電話：044-200-3355
FAX：044-245-4135



令和6年市議会第3回定例会は、9月2日から開催され、議案51件（条例9件、事件11件、補正予算12件、決算等19件）が提案されました。私は、分割先議案として提案された補正予算について、代表質疑に立ちました。11日には、みらい川崎市議会議員団の鈴木朋子議員（麻生区選出）が会派を代表して質問しました。また、今定例会では、令和5年度決算審査特別委員会が開催され、私は20日と26日のまちづくり分科会にて質問に臨みました。そして、10月11日に全ての議案が可決の上で閉会しました。代表質問と嶋田和明議員の代表質疑、決算審査特別委員会の質疑概要などを報告します。



嶋田和明 プロフィール

SHIMADA KAZUAKI

- 1968年9月川崎市で生まれる。
- 1987年3月法政大学第二高等学校卒業
- 1991年3月法政大学経営学部経営学科卒業
- 1991年4月川崎市中学校社会科教諭
- 2000年4月川崎市体操協会事務局長・理事長
- 2018年4月川崎教育文化研究所所長

- 2021年4月(公財)川崎市スポーツ協会理事
- 2022年4月多摩教育文化研究所所長
- 2023年4月市議会議員選挙(多摩区)初当選
- 2023年4月総務委員、大都市税財政制度調整特別委員
- 2024年4月まちづくり委員(副委員長)、市都市計画審議会委員



みらい川崎市議会議員団の 補正予算に対する代表質疑



代表質問

Q

体育館の空調設備について



改修については「学校施設長期保全計画」に基づいて進められているが、平成26年度に策定された本計画は、気候変動による夏の酷暑について考慮されていないため、体育館の再生整備メニューに「断熱化」はあるものの空調整備は含まれていない。本計画を見直し、体育館の再生整備メニューに空調整備を明記すべきと考えるが、見解と対応を伺う。

A

体育館の環境改善については、学校施設長期保全計画に基づき、再生整備工事を進めている中で断熱化などを実施している。昨今の気候変動による熱中症対策の必要性や、災害の発生状況をふまえて体育館への空調設備の整備については、重要な課題であると認識している。今年度、まずは普通教室等の空調設備の一斉更新等の事業を進めている。限られた財源の中で、国庫補助の活用等の検討など、本市の実情に合わせた効率的、効果的な整備や、本計画の見直しについて検討していく。

Q

避難所開設にあたっての課題について

台風7号接近時に高齢者等避難を発令し、全市で避難所が開設された。学校の校門については、開閉に関する基準が無い場合、悪天候のなか開門されている場所を求めて戸惑う方もいた。避難所開設にあたっての課題及び、改善策について具体的に伺う。

A

避難所となる学校の校門を開放する場所については、避難所の地理的条件などを考慮して、それぞれの避難所運営マニュアルを見直し、区役所職員や避難所運営支援要員、各避難所運営会議等で改めて確認する。避難所開設時の校門から建物までの経路については、現状の運営マニュアルでは案内表示の箇所や詳細な導線が示されていない事例がある。案内表示の方法について、避難誘導がスムーズとなる分かりやすい表示となるよう関係局区と連携して改善に取り組む。

Q

予防接種事業費について



新型コロナウイルスワクチン予防接種については、令和5年度までは全額国庫負担により無償で実施してきたが、今年度から定期接種化に伴い、被接種者に費用負担が生じることとなる。厚生労働省は、低所得者の接種費用は引き続き無償とするものの、その他の自己負担額については接種費用7千円を標準として各自治体において検討することとしている。本市における接種費用および事業について伺う。

A

ワクチン単価の増額は、国から当初示された1回分あたり3,260円、が本年3月に1万1,600円程度に見直されたことによる。自己負担額につきましては、接種促進を目的として1回当たり3,000円とすることを予定している。重症化予防を目的として、65歳以上の方、及び60歳から65歳未満の方のうち、国の定める基準に照らして重症化リスクが高い方を対象として実施するもの。接種終了期日は、高齢者インフルエンザワクチン接種の終了期日である1月31日を予定している。

決算審査特別委員会

まちづくり分科会にて質問



Q

登戸駅前広場の整備について



生田緑地の玄関口としての「おもてなし空間」をコンセプトの一つとして整備が進められている。特にJR南武線の乗降者の中には、ここから生田緑地へ向かう方も多いためと考えられることから、案内表示や生田緑地を十分にイメージできる仕掛けが必要と考える。緑化フェア後のレガシー形成を受け止める空間として、どのように空間づくりをしていくのか、見解と対応を伺う。

A

整備の概要としては、四季の移り変わりを楽しめる効果的なみどりの演出や、雨水浸透機能を有するレインガーデン、雨水貯留型ブロック舗装、またシェルターに太陽光パネルを設置するなど、グリーンインフラや脱炭素などを取り入れた仕様としている。緑化フェアを契機としてみどりに関心や愛着をもった市民の皆様が引き続きみどりに関わりながら誇りや愛着が感じられるよう、レガシーの形成を受け止める駅前のおもてなし空間の整備を推進していく。



Q

登戸2号街区公園について



令和3年から計37回、地域が主体となって話し合いが行われ、令和7年7月頃のオープンに向けて準備が進められている。「みんなの木陰～地域の特徴を活かした多世代の笑顔あふれる公園」をキャッチフレーズとしている。この公園を公募設置管理制度Park-PFIとして設定した経過と理由を伺う。また、地域コミュニティづくりにおいて有効であると考えているが、見解と対応を伺う。

A

市と地域が協働して公園のレイアウト検討及び管理運営協議会設立に向けた取組を進める中で、公園のより一層の魅力向上につながるようなカフェや集会所を求める地域からの意見があり、民間活力を活かした当該制度の導入について検討を行ってきた。こうした状況をふまえ、サウンディング型市場調査を行ったところ、民間事業者のニーズが見込まれたことから同制度を導入することとした。設置予定者の提案内容では、地域住民の多様な活動を支えるための地域コミュニティの集会所や地域イベント等に利用できるレンタルスペース機能を持つカフェの導入や、管理運営協議会の一員としての美化・清掃やイベント運営をはじめとした公園活動への積極的な参加など、将来の地域コミュニティづくりにも有効であると考えている。



公園全体

Q

準用河川五反田川の整備について

五反田川放水路が運用開始されたことから、上流の準用河川の区間について整備等を行うこととしている。河道改修計画案において、改修箇所および整備内容について伺う。

A

護岸や橋梁部の延長358mの区間において、粗度を改善する塗布等による表面処理を行うことにより、五反田川の流速を向上させるとともに、細山調整池における越流堤のかさ上げ及び放流口の縮小を行うことにより流出量を低減させ、五反田川における水位上昇の抑制を図るものである。

Q

生田駅付近の流域では、両側の丘陵からの排水が集中することに加えて、小田急小田原線の橋梁部と交差しているために川幅が狭く、大雨の度に水面が上昇し洪水の恐れが生じている。また、護岸に雑草や樹木が多く、河川の流れや放水路の分流施設等に影響を与えている。整備等の検討にあたって、五反田川全体の環境整備もふまえた総合的な対策が必要と考えるが、見解と対応を伺う。

A

五反田川全体の対策については、今回の対策により準用河川の区間の時間雨量50mmの対応が完了し、一級河川の区間も含めた五反田川全体の治水安全度が向上すると考えている。また、適正な流下能力を確保するため、出水期前の点検を継続的に実施するとともに、樹木伐採や河道掘削など適切な維持管理についても、引き続き取り組んでいく。



しまだ和明の一般質問から

6月20日の第2回定例会で、「生田小学校下校庭の整備事業」について質問しました。この時にとりあげた通路の側溝が、8月末に改善されました。10月5日には、「生田出張所新広場植樹祭」が開催されました。引き続き、子どもたちや住民が安心して利用できる広場となるよう求めてまいります。

改修前

改修後



市政についてのご意見・ご要望をお気軽にご連絡ください

しまだ和明事務所

〒214-0037 川崎市多摩区西生田2-1-3

TEL/FAX 044-819-5238

shimada9990@yahoo.co.jp



公式アカウント
ご登録ください



HP

f

X